

法人名 (株)オールケアライフ
評価対象期間 令和6年4月1日～令和7年3月31日

評価に関する例

A:達成できた B:概ね達成できた C:あまり達成できなかった

記載者 (株)オールケアライフ 小田 成都子			記載者 (株)オールケアライフ 小田 成都子			記載者 館長 保木本 薫		
確認者 館長 保木本 薫			確認者 館長 保木本 薫			確認者 館長代理 土井 俊佑		
自己評価設定(令和6年4月1日)			自己評価達成状況(令和7年3月31日)			吹田市の評価(令和7年11月26日)		
評価設定			事業者の評価			市の評価		
評価項目			主な取り組み内容			評価内容		
1管理運営体制	1 計画	事業運営の組織的・計画的な実施	障がい福祉に対し、弊社の理念・方針に沿って地域や利用者のお困りの声に応じ、令和6年度の事業計画に取り組みます。	B	日中活動先にお困りの、重症心身障害や医療的ケアの必要な方との接点がなかなか見いだせなかった為、新規利用者を増やすことは出来なかったが、既存利用者のお困りの声には迅速に対応することが出来た。	B	利用者目線に立った支援を行えたことは評価できる。一方で、新規利用者確保については市の課題であると同時に、事業者も年間を通じて支援学校や相談支援へ情報提供を行うこと。	
	2 人材育成	福祉人材の確保・定着等に関する具体的な計画と実施	障がい福祉への想いをもつ人材の確保を行い、人格向上と人材育成に取り組みます。	A	理想となる人物像を掲げ、人材育成には組織として全力を注いだ。お役に立つこと、人格の向上、縁者の幸せを日々伝え続けながら人材育成に取り組んでいる。	A	職員が共通のビジョンや目標に向かって取り組むことは組織の一体感が醸成され、職員間の結びつきが強まるとともに、事業の持続性を担保するとともに本市が進める政策が高質化に資するものとして評価できる。	
	3 研修	職員の知識と技術の向上に関する計画の策定と実施	医療的ケアに関する知識、技術の向上を行い、喀痰吸引等認定者を増やすことで、更に感染症や災害時等への課題意識の向上に取り組みます。	A	喀痰吸引等認定者はのべ12名になり、さらに知識、技術を向上する為、内部研修も繰り返している。感染症についても、まず基本知識を学び、利用者の健康管理と環境管理を実施している。	A	医療ケアに関する専門的な知識、技術の向上を行い、認定者の増やし、利用者の健康管理を行ったことは評価できる。	
	4 個人情報	個人情報の適切な管理と、職員等への指導	個人情報の記載された書類・USB等は一括管理し、外部に持ち出さないように努めます。	A	個人情報書類は鍵付きキャビネットへ、データ関係は外部機器の接続は全て禁止しており、社内ネットワーク内でのみ閲覧可能、そのネットワークへのアクセス権限も明確にし、漏洩防止を図っている。	A	事業所として個人情報の適切な管理を行っており、評価できる。	
	5 文書管理	利用者の個別支援や福祉サービスの実施状況の記録が適切に記録され、職員間で共有されている。	個別支援計画に基づき安心してサービスを提供する為に、サービス管理責任者とケース担当者が本人、家族のニーズを把握し、職員間で共有します。	A	利用状況・身体状況に伴う支援内容の変更が生じた場合は、常に職員間で情報共有を行い記録している。	A	個別支援計画を適切に行い、利用者の支援経過、課題等を記録しており、評価できる。	
	6 事務報告等	事務報告を適切に行う。	生活介護事業に係る業務及び事務を誠実かつ円滑に実施し市へ提出します。	A	毎月、吹田市との定例会議にて、事務報告を適切に行っている。また、毎月の国保連請求に係る書類や給食・入浴状況報告、日々の管理日誌も適切に提出している。	A	定例会において、事務報告を適切に行っており、利用者個別の状況も逐次報告を行っており、評価できる。	
	7 安全なサービス	安心・安全なサービスを提供するためのリスクマネジメント	安全衛生管理委員会を実施し事故・ヒヤリを分析・評価し対策方法を他事業所と共有します。	A	事故・ヒヤリハットのデータをまとめて分析し、見える化することを実施。日頃からの危険予測能力を向上する為の指導を実施している。	A	事故・ヒヤリハットの報告が適切になされており、その分析もおこなっているため評価できる。	

1管理運営体制	8 緊急対応	災害時における利用者の安全確保と組織的な体制	事業所利用時の避難訓練を定期的を実施するとともに、居住地域に関する課題や対応についても取り組んでいきます。	A	今年度の避難訓練は1月30日に実施し、災害用伝言ダイヤル171訓練に参加する。関係機関を通じて利用者家族と模擬訓練ができた。
	9 連携	他関係機関との連携体制の構築と実施	他機関との連携により、スピーディーに情報共有を行い家族のニーズに応える支援に努めます。	A	利用者家族の困りごとに対して迅速な対応を心掛けた。関係機関と相談しオールケアライフ全体で解決が出来るように対応している。
2 事業運営及びサービスの提供	1 健康	利用者の心身の健康の維持・増進のための支援	看護師と支援員がそれぞれの専門的な見地から、利用者の個々の健康維持・増進のための支援を行います。日々の家族とのやり取りの中で、変化に気付く事に努めます。	A	今年度も感染症マニュアルを使用し、感染症と嘔吐物処理の研修を行った。利用者が安心して過ごせるよう環境を整理し、体調管理の徹底を行った。
	2 利用者ニーズ	利用者のニーズに応じた活動や日常生活の充実のための支援	個別支援計画に基づき安心してサービスを提供する為に、本人、家族の生活全般に対するニーズを把握し支援を行います。	A	モニタリングにて利用者家族のニーズを聞き取り、残存機能を活かした支援の取り組みも視野に入れ、安定した日常生活が送れるように支援した。
	3 利用者満足度	利用者満足度の向上を目的とした取り組みを行う。	利用者満足が向上する為の支援内容を検討し、工夫、改善に努めます。	A	新たなイベント内容にチャレンジし、利用者にとっては初めての活動はより刺激的になり、いつもとは違う表情も見受けられた。
	4 利用者対応	苦情、要望に対し迅速かつ適切に対応	対応の体制を整備するとともに、苦情には迅速かつ適切に対応し市へ報告を行います。	A	案件があれば迅速かつ丁寧に対応し、報告を行っている。なお今年度は、苦情(クレーム)は0件だった。
	5 コンプライアンス	提供する福祉サービスの実施についての利用者説明	福祉サービスの実施及び利用者負担の変更にあたっては、書面にて利用者及び家族に説明を行います。	A	家族との密なやり取りを行い、サービスに係る内容を書面等にて家族へ説明し、承諾を頂いている。

A	市と合同の避難訓練を行い、また災害時の準備やマニュアルも整備されており、評価できる。
A	利用者家族の困りごとに対し、他事業所や相談支援と連携して、解決しており評価できる。
A	看護職員の人員体制が充実しており、研修等も行っている。利用者の健康管理を適切に行っているため評価できる。
A	モニタリングをとおして、家族等の面談も行っており、利用者目線の支援ができており、評価できる。
A	季節のイベントや遠足を企画し、意欲的な活動を行っており、評価できる。
A	要望等については定例会にて報告をおこなっている。利用者、家族に寄り添った対応ができており、評価できる。
A	SNSを利用し、家族と細やかなやり取りを行っており、評価できる。